



再生の道



「地域で医療難民を作らない～練馬発、東京再生～」一意専心頑張ります

- 1 医療難民の発生回避
- 2 人生会議(ACP)の普及
- 3 看護学校等の無償化
- 4 子育て支援

東京から政治を再生する

「地域で医療難民を作らない～練馬発、東京再生～」一意専心頑張ります。

現在、人口減少が深刻な課題となっていますが、医療の現場にも「2040年問題」と呼ばれる大きな転換点があります。日本の総人口はすでに減少局面に入りましたが、入院患者数はむしろ増加し、2040年にピークを迎えると予測されています。このまま人口構造の変化が進めば、2040年には「入院させたくても人手が足りず入院できない」「診療を受けたくても医療にアクセスできない」—そんな「医療難民」が急増し、医療崩壊が現実のものとなると危惧されています。2040年の医療を、今、動かしましょう!

プロフィール

沖縄県出身。中央大学法学部法律学科中退→琉球大学医学部医学科卒業。中部徳洲会病院にて離島医療・僻地医療に従事し、救急総合診療科医として勤務。その後産業医科大学病院および獨協医科大学病院日光医療センターにて循環器専門医として勤務した。専門は循環器内科と総合診療科。医学博士。前橋城南病院にて病院長を務め、「医療だけでは救えない課題」の存在に直面した。高齢化や地域の疲弊、制度の限界等々。医療の現場から、新たな道に一步を踏み出す決意を固めた。

私も応援しています!! 再生の道 代表 石丸伸二

再生の道 公認
いんまぢい